

9月5日
月曜日
2022年

ちょっと Tweet

- coffee break ! -

発行
第2号

編集者
高P連事務局

★輝く high school★ ちょっとおじゃまして～す！

— 山田高等学校 —



<中庭から望む北舎風景>



<正面玄関付近にある校訓石碑>

— 校訓 —
誠実にあれ
誇らかにあれ
貫きてあれ

今回、ご紹介する学校は、日本三大鍾乳洞の龍河洞や、アンパンマンミュージアムなどがあり、物部川の源流域に育まれた豊かな自然とともにある山田高等学校です。「探究する学校」をスローガンに、「グローバル探究科」「ビジネス探究科」を新設し、「普通科」を含む三学科体制の学校です。

校訓の「誠実にあれ 誇らかにあれ 貫きてあれ」のもと、『知・特・体をバランスよく養い、地域社会に貢献できる人材を育成する』ことを教育目標とし、地域になくはならない学校、地域に愛される学校として、80年の歴史を有しています。

正木章彦校長は、今まで多くの優秀な人材を育て上げた教育力を生かし、生徒一人ひとりの可能性を最大限伸ばせる学校として、**さらなる魅力づくりに取り組んでいく**としています。



令和3年度末で商業科はなくなっちゃいましたが、閉科する前に(株)ヤマザキパンと共同開発した「まーるい蒸しパン」を知事に報告することができました。**山高の挑戦はこれからも続けず！**



香美市内のローソンで企画して作った弁当ぜ！
まあ～1回食べとせや。
こじやんと美味しいき！

山高てんこ盛りニュース

香美市の企業と行政などと連携し、素晴らしい企画を考案しました。地域との協働が進んでいます。

**やっぱりカレーが一番！
美味しいですよ！**

山田高校kami愛部

地域の魅力を発信する活動に取り組む山田高校生のサークルです。
現在のメンバーは2年生2名、1年生4名の合計7名です。
商品開発や各種イベント企画・参加、SNSでの情報発信を行っています。
今回のカレースタンプラリー開催も部員のアイデアが実現したものです。



「探究活動」を通して地域社会に貢献できる人材になりまへす **じゃへんぷ！ あれ！**



山高体育館で行われた「リモートよさこいイベント」の様子です。みんな、張り切っちゃろう！

山高レストランへようこそ！



ちょっと coffee break !

坂本龍馬は慶応3年11月15日に暗殺されました。その場所は、次の①～④のどこでしょうか。

(難易度 ★☆☆☆☆) |

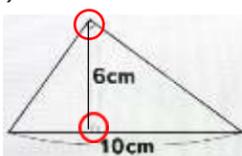
- ① 近江屋
- ② 池田屋
- ③ 越後屋
- ④ 寺田屋

京都河原町のこの場所で、坂本龍馬と中岡慎太郎が暗殺されました。龍馬と慎太郎の暗殺の謎は、今も多くの議論を呼んでいます。

ある会社の入社試験です。あなたは、この三角形の面積を問う問題に答えられますか？

(難易度 ★????)

見えにくいですが○の2カ所に直角のヒントがあります。が、侮ってはいけません。即採用となるのか、あるいは不合格となるのか、挑戦してみてください。有名な会社ですよ！



城西公園の北側に「寺田寅彦邸址」の碑があります。文字を書いたのは①～④の誰でしょうか？

(難易度 ★★★★★)

- ① 中内 力
- ② 牧野 富太郎
- ③ 板垣 退助
- ④ 橋本 大二郎

「へ～そうなの。でも、なぜなのか？」という疑問が残ります。皆さんは、ご存じですか？



えひめ
笑媛から始まる絆づくり！ ～ 無限の可能性を秘めた子どもと共に ～

中国・四国地区高等学校PTA連合会大会（愛媛大会）

令和4年7月26日（火）愛媛県松山市にある「県民文化会館」において第64回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会（愛媛大会）が開催されました。コロナの影響を受け、急遽取りやめた学校もありましたが、本県から、高P連、県教委、13校37名の皆さんで参加することができました。

本来、愛媛大会は、平成30年度に開催される予定でしたが、やむを得ない事情により中止しなければならなかったことがありました。しかし、紆余曲折を経て、中四国では3年ぶりの開催ということや、様々な準備や連絡の遅れなどある中で、見事に乗り越えた大会となりました。

高P連としては、愛媛大会の流れや動きを教訓としつつ、令和6年高知大会の開催に向けて、4名の方に視察員をお願いいたしました。
（高野和幸＝高知国際高校長、橋本万里子＝岡豊高校教頭、柳井知雄＝春野高校教諭、久保雅裕＝高P連副会長）（敬称略）

皆さんからの「視察報告書」の中から、抜粋して一部を右に紹介します。

【大会運営について】

- 会場手前道路～駐車場入口～会場入口～会場内にと統一されたビブスを着用したスタッフが配置され、渋滞を避ける工夫がよかった。
- 会場への入り口が複数あり、それぞれの入り口で検温する体制ができており、また、座席指定も各団体に事前に通知されていたので円滑な受付ができていた。
- ホールの入場する際にも、案内役の保護者が要所要所に配置されていたので、スムーズな誘導がされていた。
- 高知では、会場が狭いため、目印となる掲示物を大きくし、県ごとに入場路を指定することや、県内参加校の入場を早めるなど、入場時の混乱を避ける必要がある。
- 昼食場所を指定し、各県の代表者が代表して弁当を受け取る配付方法はスムーズで良かった。
- 司会はプロのアナウンサーにお願いするほうが良いのではないのでしょうか。



【講演、発表及び研究協議など】

- 講演については、「今治からの挑戦」と題してということで、大会テーマに沿った内容で大変良いものでした。特に、理念、ビジョン、信念、心の豊かさ、信頼、共感など理解することができ、いつになっても夢を語り続ける事が大切なのだと感じました。
- 研究協議では、いずれの実践においてもコロナ禍の中で思うような取り組みができなかったことをあげていました。確かにそのとおりですが、**コロナ禍だからの問題だけだろうか。PTA活動が過渡期を迎えている今、このことを真正面から議論することも、研究協議の中では必要であると感じました。**
- 高校生による発表では、「愛媛県内の高校魅力化の取組」として、生徒自らが発表していました。すべての生徒がキラキラと輝いて見え、堂々と自信をもって発表している姿がとても印象的でした。**しんどい思いを抱えている子どもが、もう一度自分を取り戻そうとする実践発表は、感動的であつたし、高校再編問題を抱える本県としては令和6年の高知県での開催時には必要な視点ではないでしょうか。**
- 会場内には、おもてなしブースが設けられており、**コロナ禍で観光も不自由を強いられている中、笑顔で商品の説明や販売をしてくれたことは大変心が和みました。**
- 質疑応答の時間はもう少し必要だと思いました。
- 各学校の取組紹介のパネル展示があればとも思いました。



第71回全国高等学校PTA連合大会2022石川大会

輝く未来への礎 ～ 親から始める新時代の教育 ～

期日	令和4年8月25日（木）・26日（金）
場所	石川県金沢市「いしかわ総合スポーツセンター」
参加者	高P連 5名（内：視察員2名）
小津	2名 東 1名
宿毛工	2名 高知工 1名
室戸	2名 丸の内 2名
西	3名
合計	18名



<事務局便り> 新会長就任のご挨拶

高知県高等学校PTA連合会 会長 佐竹 大樹

保護者の皆様方には、平素から高知県高等学校PTA連合会の運営に対しましてご理解とご協力をいただきとともに、お子様の健全育成のためにご尽力をいただいておりますことを、心より感謝申し上げます。

このたび令和4年7月2日に開催されました高知県高等学校PTA連合会定期総会におきまして、小串前会長より引継ぎ会長の重責を仰せつかりました佐竹と申します。新役員の皆様とともに協力して活動してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

私は恥ずかしながら、高校の会長をするまでは仕事を重視するあまり、PTA活動を積極的に行ったことがありませんでした。長女の高校入学をきっかけに、友人からの誘いによりPTA役員として活動することになりました。

日々楽しくPTA活動をともに取り組んでいるうちに、同校会長になり、さらにはPTA連合会の副会長も勤めさせていただきました。子どもに親として育ててもらい、また皆さんに助けていただきながら今日に至っています。

昨今、社会における制度がめまぐるしく変化する中で、選挙権が18歳からとなり、成人年齢も同様に引き下げられました。私の学生時代と比べても社会環境は加速度的に変化し、私自身も流れに付いていくのがやっとです。



<四万十市の赤鉄橋>
私の出身地のシンボルです。

今後も、社会の制度や子どもたちを取り巻く環境の変化は更に加速するものと思われれます。

この急速な社会変化に対して、保護者の皆様がいっしょに子どもたちを見守り支え、また連合会としても情報を可能な限り提供していきたいと思っています。



新型コロナウイルス感染症の影響により、教育活動の一翼を担う諸行事や式典、会合など、ことごとく中止や規模縮小となり、満足のいく交流ができない状況にあると思います。

PTA活動で大切なことは「親も楽しむこと」だと思います。保護者が楽しむ姿を子どもたちに見せてこそ、学校は楽しいところだと認識してもらえるのではないのでしょうか。

コロナ禍ではありますが、何ができるかを私たち保護者一人ひとりが見つけていき、知恵を出し合い、全力で楽しむ大人の姿を子どもたちに見せていきましょう。「すべては子どもたちのために」と考えています。

結びになりますが、高知県高等学校PTA連合会が今後も多くの情報を保護者の皆様へ発信することができ、より良いPTA活動が各学校、地域において実践されることをお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

どうかよろしくお願いいたします。

<リレー・エッセー>

次はあなたです！



第71回全国高P連大会 石川大会に参加して

8月下旬、高P連全国大会(石川大会)に参加しました。有意義で、大変楽しい大会となりました。心に残ったことについて、ほんの少し振り返ってみたいと思います。

① はじめに、開会式です。

会に先立ち、高校生による華やかなバトン演技、合唱部による格調高き澄んだ歌声は圧巻でした。「この日の為に一生懸命練習したんだろうな～」「コロナ禍で他に発表の場はあったのかな～」など、思いを巡らせずにはいられませんでした。

また、開会式でのそれぞれの言葉では、異口同音に開催への感謝や、子どもたちの自主性を育てるため学校・家庭・地域の連携がますます重要となることを強調されていました。参加した誰もがそう思ったことでしょう。

そして、表彰式では、本県から高知東高校前PTA会長 都築靖正さん、高知東工業高校前PTA会長 山田達哉さん、高知西高校PTA様、中村高校西土佐分校PTA様、高P連前会長小串和久さんが受賞されました。スクリーンに映し出された名前、校名が何と輝いて見えたことか、改めてこれまでのPTA活動に感謝いたします。おめでとうございました。

② 次に、参加した第1分科会です。

『新時代の家庭教育～いま伸ばすべき本当に必要な力』のテーマのもと、心に残った言葉とは、次の4つです。

- (1) 個人の成功を俯瞰してデータ化する
- (2) 偏差値の高い学校へ入学しても、将来成功するとはかぎらない
- (3) 学校の教育力を高めるためには、保護者の協力と貢献が必要
- (4) 幼児期は親の言うことを鵜呑みにするが、思春期は他の信頼する誰かの意見を尊重する

③ 最後に、記念講演です。

『やりたいことをやる』のテーマのもと、(株)ファミリーマート顧問 澤田貴司氏の講演でした。高校入学後半年で野球部を辞め、中途半端な高校生活への挫折や後悔から得たことや、

また、27歳の時父親を亡くされたことがきっかけで、感謝される人間になることの大切さや、人のために尽くすことが自身に返ってくることなど、実体験による学びの内容でした。やがてこの経験は、仕事をしていく上での、「誰が正しいか」ではなく「何が正しいか」という、確固たる信念となっています。挫折を幾度も経験し、会社内でぶつかりながらも信念を追求していく姿勢には、大変感銘を受けました。

以上、今回初めて全国大会に参加させていただきましたが、感動や子育ての反省など、盛りだくさんの実り多い大会でした。対面でしか味わえない空気感もあり、これからは是非沢山の方に大会へ参加していただきたいと思いました。自身に置き換えると、全くもって耳の痛い話でした。ありがとうございました。

(高P連事務局 廣瀬 縁)